

市立小中学校の改築事業を進めています

予算額 33億6105万7千円

本市の市立小中学校施設の多くは昭和30～50年代に建築され、老朽化が進んでいます。市では令和2（2020）年3月に『武蔵野市学校施設整備基本計画』を策定し、今後20数年をかけて順次改築を行うこととしました。

全体計画に基づき、令和2年度より第一中学校及び第五中学校、令和4年度より第五小学校および井之頭小学校の改築事業に着手しました。

第一中学校および第五中学校については、令和5年度より新校舎および新体育館の建設に着手します。また、第五小学校および井之頭小学校については、基本設計を開始します。



第五中学校 外観パース



第一中学校 ラーニングcommons
内観パース

1 学校整備のポイント

新しい学校施設については、新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の活性化や、「個別最適な学び・協働的な学び」を実現するために、以下の考えに基づき整備します。

『校舎全体をゆるやかにつなぐ **学びの空間**』

“主体的・対話的で深い学び”の活性化“個別最適な学び・協働的な学び” 選べる学びの空間

- ・ 学校図書室+多目的室を“**ラーニングcommons**”として、学校の真ん中に、開放的に整備
- ・ 『ラーニングcommons』を中心とした **学びの空間を連続**させ、学びの“**重なり**”をつくる
- ・ 『重なり』が日常生活の中で、“**学びとの 出会い・興味・楽しさ**”を生みだし、交流・刺激・遊びを誘発
- ・ 多様な空間の連続的配置により、“**児童生徒自らが学びの場を見つけられる**”

2 令和5年度事業費

(1) 建設費 第一中学校：13億1280万円 / 第五中学校：12億3070万円

(2) 基本設計委託費 第五小学校及び井之頭小学校：1億6742万円

※なお、令和5年度予算には、上記事業費以外に第一中学校および第五中学校の解体工事費や仮設校舎のリース料等改築事業に関する費用が含まれます。

3 スケジュール（予定）

(1) 第一中学校及び第五中学校

○解体工事：令和4年8月～令和5年8月

○新校舎・新体育館の建設工事：

- ・ 令和5年4月 入札⇒仮契約
- ・ 令和5年6月 第二回定例会 工事請負契約議案上程
- ・ 令和5年7月 契約
- ・ 工事期間 令和5年7月初旬～令和7年1月末

(2) 第五小学校及び井之頭小学校

○基本設計 令和5年4月～令和6年3月